



聖戰大博覽會

春は博多へ聖戰博へ

斯界の白眉燦たる偉容

四月一日開會

後援

陸軍省、海軍省、佐世保鎮守府
第十二師團、獨逸大使館、伊太利大使館
福岡縣、福岡市、博多商工會議所

主催

九州日報社
佐賀毎日新聞社、佐世保新報社

靖國神社遙拜所

場内に靖國神社遙拜所を設けて、東方護國の英靈を拜し併せて國民感謝の誠を捧ぐ

恩光館

宮内省を始め各宮家に於かせられては本會開催の主旨を贊せられ事變に最も關係深き尊き御出品を添けなうするの光榮に浴し本會の一大名譽とし謹んで本館を施設してゐる

陸軍館

靖國神社遊覽館の出品を移動せられる當局の英斷による地方稀に見る近代兵器の數々や軍神西任大尉の戰車及び戦利品の御貸下を願つて、これに配するに實戰の模型を以て實感的施設をしてゐる

パノラマ館

蜿蜒百五十間に亘る大パノラマで事變の發端地蘆溝橋、太原、保定の北支大激戰地、中支は上海、大場鎮から敵首都南京攻略戰、更に武漢三鎮總攻撃と皇軍々靴の印する處、日章旗の飄る處を細心の注意を拂つて製作し殊に郷土勇士の杭州灣及びバイヤス灣に於ける敵前上陸の狀況は大パノラマ式に展開しこの戰に仕れた郷土勇士の英靈と遺族に捧ぐべく美術的技工の粹を集め電氣装置を施し一層入念に描寫して居る事は會場最大の呼び物である

海軍館

無敵艦隊堂々の進軍實況を立體的に表現、各種新兵器と御貸下げ品の陳列は共に實戰を聯想せしめ軍艦旗血染の勇士郷土の誇り山下一等水兵も同様に奮闘の狀況を暴露せしめて居る

武勳館

護國の鬼となつた勇士の武勳を憶ふべく血染の鐵兜、日本刀、遺書等々總て故人の魂がこもるものを蒐集し涙なくは見られぬものばかりで感激の戰爭實話集とも云ふべきである。就中郷土勇士の忠魂を讃仰する誠忠録に記載されてゐる勇士關係の遺品は見る人をして襟を正させる

防共館

獨逸、伊太利兩大使館の後援による各種の大出品は明對兩國の興隆狀勢を遺憾なく發揮し國民團結の下防共の堅陣を布く、以て防共締結國の全貌を窺ひ知らしむるため獨逸政府が巨額の費用を投じた獨逸展覧會をもそのまゝ、そつくり提供されてゐる

屋外施設

「トーチカ、クリーク」これは既に時代語になつてしまつたが、その實體に付いては誰も確つきりと知り得ぬ國民的疑問である、百聞一見に如かず！本會は特に軍當局の指揮を仰ぎ、肉弾をぶつゝ、かるクリークトーチカの攻略を表現する實物を造り上げる。その他殊勳甲の飛行機、戰車等を配列、日鐵館、休憩所、救護所、消防班は勿論賣店、郵便局出張所、鐵道及觀光案内所等必要な設備の總てを完備するが尙日鐵館内にはニュース映寫場を設けて戰線の動きを報道する。

入場料だけで場内觀覽全部無料

入場料 大人三十錢 小人十五錢・尙卅人以上の團體には割引をなす

主 催 九 州 日 報 社
聖 戰 大 博 覽 會 配 置 圖

會 期 自 昭 和 四 十 年 四 月 一 日 至 全 年 五 月 十 日
 會 場 福 岡 市 大 濠 公 園 內 五 千 坪

